

環境経営方針

タマテクノシステム株式会社は情報通信システムの設計、施工、保守・運用の事業者として、その事業活動が環境に影響を与えていていることを認識し、環境負荷低減と顧客満足を踏まえ、次のことを実践する。

1. 事業活動から発生する環境負荷の低減、環境リスクを未然に防ぐとともに企業としての課題を含め環境経営の継続的な改善をはかる。
2. 環境活動を実践するにあたり、事業活動に密接する省資源、省エネルギー、本業に関する事項の推進及び廃棄物の削減について目標を定める。
3. 実践は「環境活動評価プログラム」(エコアクション21)により、計画、実施、維持し、次の活動に重点的に取り組み、社会への信頼と顧客満足を与える。

- 1) 一般廃棄物、産業廃棄物排出量の削減
- 2) 水資源、二酸化炭素排出量の削減
- 3) 本業に関する事項の安全・品質・情報の管理推進
- 4) 企業としての課題を抽出し、継続的改善を図る
- 5) 関連する法規制等の遵守

4. 環境方針は全ての従業員に周知する。

令和7年7月1日

タマテクノシステム株式会社 代表取締役 山下巖

令和7年度 全社 環境経営目標

(環境 3/3)

R7.7.10
R7.7.14一部修正

	活用連動項目	単位	全社目標	目標値内訳			備考			
				本社地区	IS事業所	大阪支店				
環境負荷	二酸化炭素の削減	Kg-CO2	121,770	98,480	8,270	14,920				
	発生源 電気使用量	kWh	94,700	63,000	18,700	13,000				
	ガス使用量	m3	10,890	10,890			本社、立川のみ使用			
	車両燃料	ガソリン	19,130	14,480	本社に含む	4,650	本社、大阪は各1台増車(レンタカー)			
			5,160	5,160						
	一般廃棄物排出量	kg	2,500	2,500		削減PR				
	産業廃棄物処分量	kg	13,500	13,000		500				
	節水の実行	m3	500	350	150	削減PR				
	印刷 白黒/カラー 度数	千度	200/100	150/ 55	30/ 30	20/ 15				
		〃 料金	400/1,100	300/650	50/250	50/200				
環境経営	負荷発生額	千円	15,290	13,670		1,620	・全社生産高対象人員 250-60=190人 ・年実績1人66,880円×1.2(物価上昇20%) =80,300×190=15290千円			
	負荷発生額 /生産高	%	0.81 (全社目標)				・生産高想定:全社:19億円 ・負荷額: 15,290千円 ・CO2発生額: 11,505千円 想定			
	CO2発生源費/生産高	%	0.61 (全社目標)							
本業関連	環境/安全品質/情報/技術教育推進及び事故クレームの防止									
	環境配慮の業務実行 (職場・現場パトロール結果で予防・是正処置を検討し、環境への意識高揚と改善を図る)									

- ・全社目標値は本社地区とIS事業所、大阪支店の合計です（本社地区には立川、神田の事業所を含む）
- ・生産高：人員数は常駐保守、派遣事業の売上額及び関係する人員は含まない
- ・CO2排出係数：本社地区・IS事は 電気0.442 大阪支店電気0.318 都市ガス2.16、ガソリン2.32、軽油2.62を使用
- ・負荷発生額：CO2発生額（電気、ガス、燃料）、廃棄物処理、水、紙購入、コピー費等の費用（前年実績+物価高を見込む）
- ・生産人員は190人（本社地区135人、IS事 37人、大阪18人）と設定